

天津小湊の

かがきは永遠に

広報

あまの
こみち

特別号

天津小湊町制50周年・閉町記念誌

1955 - 2005

天津小湊町制 50 年誌発刊にあたり

昭和30年2月11日に、旧天津町、旧小湊町の2町が合併しての「天津小湊町」誕生以来、50年を迎えました。そして、この大きな節目の時期となる平成17年2月11日から、さらなる新たな出発が始まることとなりました。

このことは先人、先輩の皆様、並びに今日の町民の皆様をはじめ、町議会、関係者、関係機関各位の深いご理解とご支援の賜物であり、ここに深く感謝申し上げる次第であります。

町誕生以来、「井戸水から上水道に」、「無線・有線放送から携帯電話・パソコンに」、「炭・薪から新エネルギーに」、「ジャリ道から舗装道路、そして新たな内浦バイパス、天津バイパスの開通に」、「無の山林から有の内浦山県民の森に」などなど、この50年間の社会、経済、地域環境は大きく変わり、先人が築き残した豊かな自然、歴史、文化を育みながら着実な発展を遂げて参りました。

又一方、「ふしぎの国あまつこみなと」、「鯛のまち」、「かおり風景百選のまち」、「海と森と輝く太陽のまち」、「朝日百選のまち」、「日の出日本一のまち」さらには「おもしろ百物館のまち」などと称し、観光と漁業のまち天津小湊は、全国的にも大きくクローズアップされることとなりました。

これらさまざまな資源をもった比類稀なる本町の重み、そして、歴史の重み、時の重み、明日への重みは後世に継がれ、必ずやこの礎をもとに、さらなる天津小湊地域の輝きに結びつくものであると確信する次第であります。

この私共のふるさと「天津小湊」の素晴らしい歩みを、次代を担う人々へ伝え残すために、町制施行50周年記念誌としての町広報特別号を、ここに発刊いたします。

平成16年12月25日

天津小湊町長 片桐 有而





目次

町長あいさつ 天津小湊町制50周年発刊にあたり	2
あまつこみなと歳時記 春	4
夏	6
秋	8
冬	10
天津小湊町の歩んできたみち	12
数字でみるあまつこみなとの50年	16
2055年、あまつこみなとの町並みは?	17
あまつこみなとおもしろばなし	18
あまつこみなとの町並みを紹介します	20
50年間の歴代町長と議長	22
私たちの思いがく、将来のあまつこみなと	24
50年後の今日も、変わらない笑顔に会えるといいな。	26



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

ヒジキ刈り 長寿の草と呼ばれるほど高いミネラル分を含んだヒジキ。本町のヒジキは茎が太く、ふっくらやわらか、甘くてコシがあって自然の恵みがいっぱいです。

清澄地区 シャガ

小学生による田植え体験

ひかり保育所入園式 平成 16 年 4 月から新しくなったひかり保育所

四方木 キリシマツツジ

内浦海岸 ハマヒルガオ

天津漁港 オオシマザクラ

いつまでも輝いていタイ
美しさ四季彩～色彩～の風流里
あまつこみなと歳時記

春の訪れを告げるひじきがり。
桜の舞い散る県民の森。
満開の桜の下、楽しみにしていた入学式。
温かな海流に抱かれた潮騒の里は、息吹き
始めた新しい生命に満たされています。



浜荻貴船神社祭礼



3



2



1

麻綿原高原 アジサイ 清澄山から約4キロ、大多喜方面へ向かったところにある麻綿原高原は、20万株を数えるアジサイの群生地です。標高が高いため、開花は一般のものより遅く、見ごろは7月中旬～8月上旬。

サマーフェスタ IN あまつこみなと 平成14年8月10日、第1回サマーフェスタ IN あまつこみなとが始まりました。ジェットスキーの体験乗船、伊勢エビのつかみどり、宝さがしや芸能ショーで夏の思い出があふれます。



海と森と輝く太陽のまち

Sun-Topia: Resort & Conference Belt

白く美しい砂浜は輝きを増し、
透き通った海水があたたかくなります。
緑濃き清澄山。燃え盛る太陽のもとで各種イベント。
祭礼のお囃子が始まれば、まちの温度がどんどん高まっています。



祭礼 町内から笛の音が響き渡るころ、町内は祭り一色に染まり始めます。7月下旬の小湊地区祭礼、天津地区祭礼。8月に入って浜荻貴船神社祭礼があります。

賑わう天津漁港
納涼花火大会
小弁天 スカシユリ



山燃え立つ紅葉の季節。
涼しげな青空と吹き抜ける風の爽やかさ。
鯛鱗ピックや紅葉ハイキングで汗を流したら、
四方木不動滝でしばしの休息。



白岩の紅葉 小櫃川の源流からそびえたつ真っ白な岩肌に、ウルシの赤やハンノキの黄、そして常緑樹の緑など、色とりどりの景観が目の前に広がります。
天津神明宮祭礼
四方木の不動滝 滝の音色が、しばし時の流れを忘れさせてくれます。
誕生寺お会式のかわいいお稚児さん
スポーツ少年団鯛鱗ピック 町のシンボル「鯛」にちなんだ競技大会。毎年11月3日に行われます。





誕生寺のお会式

8



7

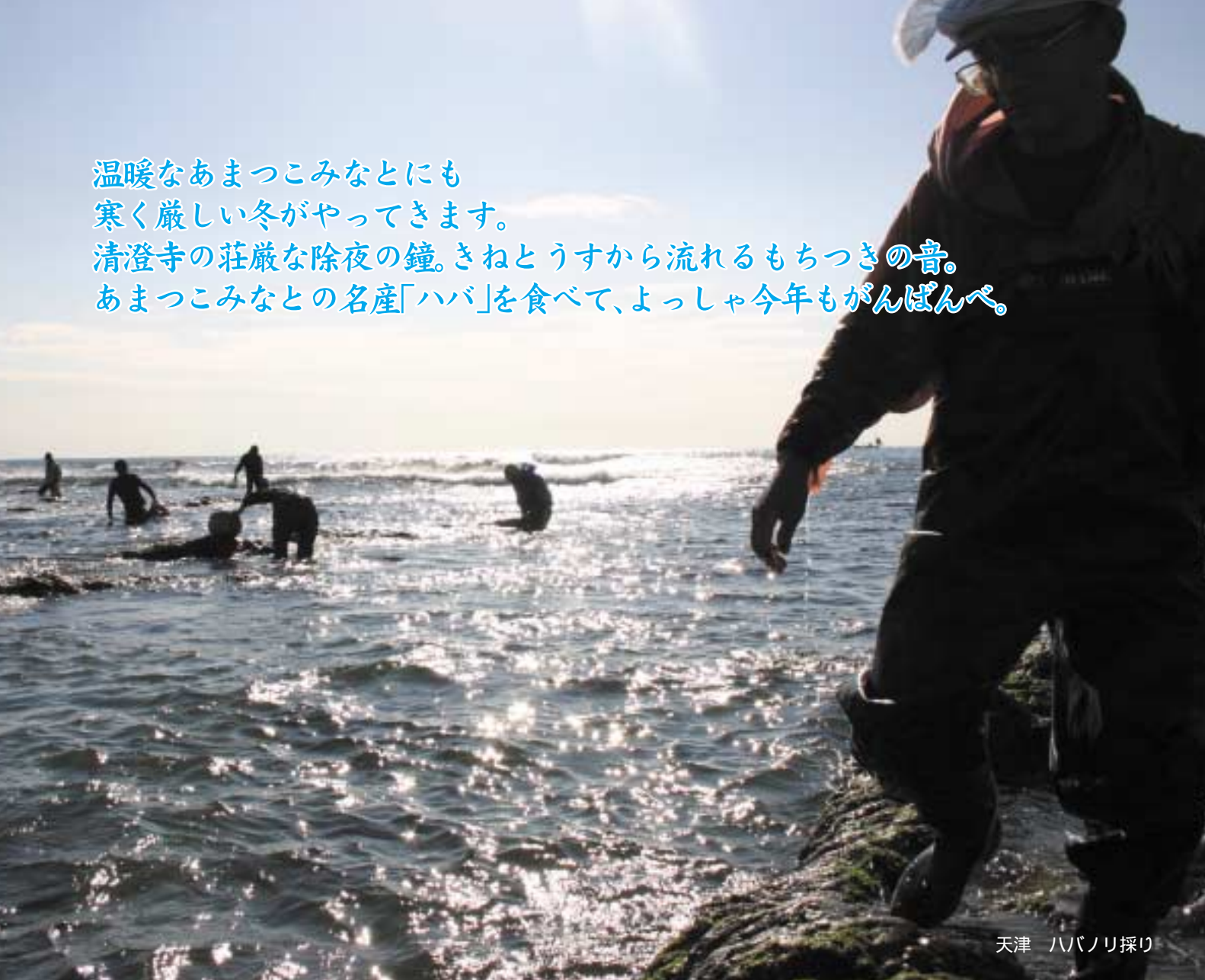


町内で行われるお芋ほり大会
小湊魂永遠にあれ！ 平成17
年4月から天津中と小湊中が統
合し、「安房東中学校」となりま
す。平成16年最後となった小
湊幼小中秋季合同運動会
八景 ヒガンバナ

6



温暖なあまつこみなにも
寒く厳しい冬がやってきます。
清澄寺の荘厳な除夜の鐘。きねとうすから流れるもちつきの音。
あまつこみなとの名産「ハバ」を食べて、よっしゃ今年もがんばんぺ。



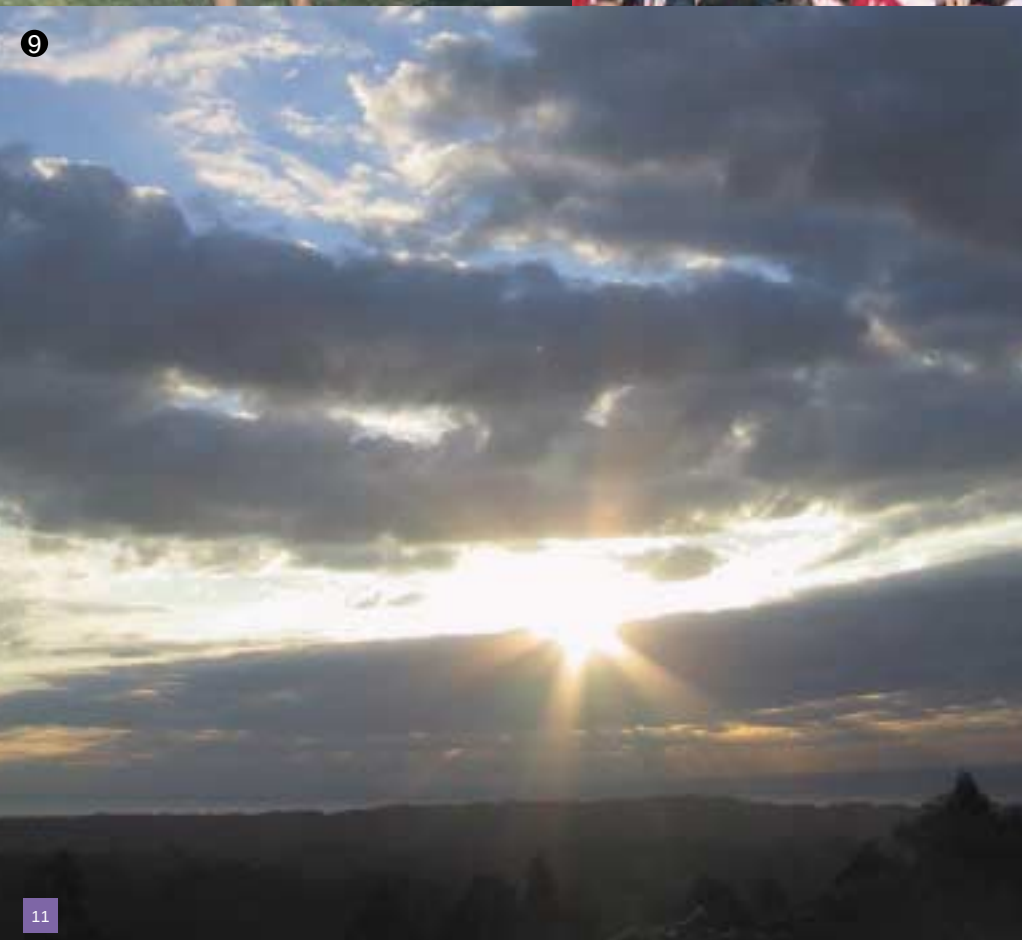
天津 ハバノリ採り



ハバノリ採り

あまつこみなど師走の風物詩。食べると「ハバがきく」と言われ、正月の縁起物として食べられます。

新町 スイセン
清澄寺の水行式
清澄寺の節分会豆まき



新春出初式
町リレー競走大会
町内もちつき大会
コミュニティセンター裏 ウメ
そして明日に向かって...旭が森からの初日の出



昭和30年 開戸橋渡り初め



昭和30年 小湊小学校の下校風景

天津小湊町の歩んできたみち

天津小湊町が誕生したのは昭和30年2月11日。
あれから50年、あつというまの月日が流れました。
振り返ってみてください。
あまつこみなとで過ごした50年間。

昭和

30年（1955年）	2月11日	天津町・小湊町合併、天津小湊町が誕生
31年（1956年）	10月	清澄小学校新築落成式
32年（1957年）		簡易水道工事完成
33年（1958年）		小湊小学校、学校給食により文部大臣賞受賞
34年（1959年）		浜荻漁港の船溜・魚揚場工事開始
35年（1960年）	2月	町体育協会発足
36年（1961年）	3月	天津中学校、保健体育優良校として表彰
37年（1962年）	2月	有線放送電話事業開始
38年（1963年）	11月	実入トンネルの改修工事開始
39年（1964年）	3月	広報あまつこみなと第1号発刊
40年（1965年）	4月	皇太子・美智子妃殿下・浩宮様御清遊
41年（1966年）	6月	上水道拡張工事完成
42年（1967年）	4月	町立ひかり保育所完成
		町内初の青年館として谷青年館完成
		板橋区立天津養護学校完成



昭和30年 天津町、小湊町合併記念式典



昭和48年 昭和天皇皇后両陛下下行幸啓



昭和45年 浜荻漁港船曳場



昭和43年 天津の町並み
(空から 芝・引土地区)

63年 (1988年)	62年 (1987年)	61年 (1986年)	60年 (1985年)	59年 (1984年)	58年 (1983年)	57年 (1982年)	56年 (1981年)	55年 (1980年)	54年 (1979年)	53年 (1978年)	52年 (1977年)	51年 (1976年)	50年 (1975年)	49年 (1974年)	48年 (1973年)	47年 (1972年)	46年 (1971年)	45年 (1970年)	44年 (1969年)	43年 (1968年)	
9月	3月	7月	11月		4月	2月	10月	1月	3月	3月	3月	6月	3月	3月	10月	6月	3月	5月	5月	2月	4月

天津・浜荻保育所完成
ダイヤル式電話開通
国道128号勝浦小湊バイパス開通
町の木「スギ」指定
山梨県身延町と姉妹町協定締結
天津保育所完成
天皇・皇后両陛下下行幸啓
清澄小学校・四方木小学校閉校
鯛の浦被山遊歩道に行幸啓記念碑完成
坂本稚児ヶ滝線全線コンクリート舗装完成
二日間橋完成
町衛生センター完成
町中央公民館完成
県道内浦山公園線全線開通
国道128号鴨川天津バイパス開通
清澄老人いこいの家完成
町章制定
町役場新庁舎完成
天津小湊町合併25周年式典開催
国道128号内浦バイパス開通
小湊駅下に町営無料駐車場整備
第1回天津小湊町民号実施
小湊地区街路灯整備
安房天津駅と合築の芝町コミュニティセンター完成
天津地区街路灯整備



昭和60年 第1回町民号実施
「身延山参拝とぶどう狩りの旅」



昭和58年 内浦バイパス開通式



昭和55年 天津バイパス開通



平成5年 防災行政無線運用開始



平成元年 宇宙飛行士イベント

平成

元年（1989年）

7月

鯛のまちへ宇宙飛行士がやってきたイベント開催

2年（1990年）

4月

小湊駐車場完成

3年（1991年）

6月

第2奥谷ダム完成

4年（1992年）

10月

第1回風流里夢まつり開催

5年（1993年）

3月

鯛みこしデビューフェスタイベント開催

6年（1994年）

3月

町コミュニティセンター完成

7年（1995年）

8月

健康管理センター・地域福祉センター完成

8年（1996年）

3月

町社会福祉協議会発足

9年（1997年）

11月

ふるさとシアター完成

10年（1998年）

3月

防災行政無線運用開始

11年（1999年）

3月

ふるさと写真集 PHOTOGRAPH 天津小湊発行

12年（2000年）

4月

第1回「風流里鯛まつり」開催

13年（2001年）

1月

わんぱくハウス完成

14年（2002年）

3月

君津市と友好都市調印

15年（2003年）

11月

一般廃棄物最終処分場完成

16年（2004年）

3月

ふるさと資料「天津小湊の歴史」刊行

17年（2005年）

10月

地域振興券交付

18年（2006年）

12月

第1自治体と災害時相互援助協定締結

19年（2007年）

4月

高齡者憩いの施設「ほのぼの荘」開館

20年（2008年）

12月

第1回町所在公共機関等連絡会「タイサミット」開催

21年（2009年）

3月

初日の出日本一のまちで「日本の朝日百選」に認定される

22年（2010年）

1月

主要地方道市原天津小湊線坂本工区一部開通

23年（2011年）

3月

開通



平成13年 かおり風景百選に認定



平成13年 日本の朝日百選に認定



平成7年 風流里鯛まつり



平成15年 安房地中学校完成予想図



平成15年 ボランティアガイド協会発足



平成14年 全国門前町サミット開催

17年 (2005年)	11月	「天津小湊町誕生寺の線香と磯風」で環境大臣から「かおり風景百選」に認定される
	10月	町衛生センター大規模改修完成(ダイオキシン対策事業)
	9月	町のPRラジオ放送開始
	8月	第1回サマーフェスタIN天津小湊開催
	7月	ごみ従量制(有料指定袋制)施行
	6月	第5回全国門前町サミット開催
	5月	戸籍総合システム稼動(戸籍事務電算化)
	4月	鯛のまちあまつこみなとボランティアカイド協会発足
	3月	鴨川市・天津小湊町合併協議会設立
	2月	統合中学校「安房東中学校」建設事業着工
	1月	麻綿原ハイカーが遭難、対策本部を設置
16年 (2004年)	12月	町役場庁舎一部火災
	11月	東京大学千葉演習林と地域交流協定締結
	10月	実入歩道トンネル水族館事業開始
	9月	鴨川市・天津小湊町合併協定調印
	8月	清澄山天富神社からの富士山の展望が、国土交通省関東地方整備局の「関東の富士見100景」に選定される
	7月	さいたま市と友好都市協定締結
	6月	町制50周年式典開催
	5月	ロシア人日本本土初上陸の記念碑設置
	4月	天津小湊町・鴨川市、新設合併により新「鴨川市」が誕生

状況は50年で こんなに変わりました

数字でみる
あまつこみなとの

50年

	1955年(昭和30年)	2004年(平成16年)
人 口	1万2 590人 昭和30年国勢調査	7 477人 平成16年11月1日現在 人口基本台帳
	男 6 134人 女 6 456人	男 3 627人 女 3 850人
世帯数	2 589戸 昭和30年国勢調査	2 735戸 平成16年11月1日現在 住民基本台帳
事業所数	580(従業者1 752人) 昭和29年事業所統計調査より、天津町と小湊町の総数	579(従業者3 160人) 平成13年事業所・企業統計調査
町予算	歳入 歳入総額 2 885万3 536円 内訳 地方交付税 6 39万3 千円 町税 1 858万1 287円 使用料および手数料、公営企業および財産収入 7 9万4 721円 国・県支出金 2 40万9 32円 雑収入 6 万7 500円 寄附金 6 1万6 096円 — — — —	歳入 歳入総額 3 2億9 513万2 千円 内訳 地方交付税 8 億9 000万円 町税 6 億5 077万5 千円 使・手・財 4 057万3 千円 国・県支出金 4 億8 725万6 千円 雑収入(その他) 7 809万8 千円 寄付金 7 5万2 千円 繰入金 3 億2 00万3 千円 譲与税等 1 億3 660万2 千円 分担金および負担金 6 687万3 千円 町債 6 億4 220万円
歳出	歳出総額 2 885万3 536円 内訳 議会費 5 6万5 786円 役場費 1 008万4 732円 統計調査費 7 万5 00円 選挙費 4 3万7 590円 消防費 1 23万4 216円 土木費 6 9万5 00円 教育費 5 44万5 626円 社会及労働施設費 2 35万9 262円 保健衛生費 8 1万4 745円 産業経済費 1 08万7 801円 公債費 2 61万2 968円 諸支出金 2 52万6 892円 財産費 6 2万2 918円 予備費 3 0万円 昭和30年度一般会計当初予算	歳出総額 3 2億9 513万2 千円 内訳 議会費 7 971万1 千円 総務費 5 億3 866万3 千円 消防費 1 億5 028万円 土木費 1 億9 51万3 千円 教育費 9 億3 037万5 千円 民生費 3 億5 451万円 衛生費 2 億6 578万5 千円 農林水産業費 5 858万1 千円 商工費 8 147万5 千円 災害復旧費 4 千円 公債費 5 億2 63万円 諸支出金 2 億1 860万5 千円 予備費 5 00万円 平成16年度一般会計当初予算 歳入は昭和30年度対比用にてあります。

チョット
ひとひわり

50年前と今の消費者物価指数は6倍(日本銀行ホームページより)。
昭和30年の予算は今に置換えると2885万3536円×6=1億7312万1216円に相当します。



小湊地区



内浦地区



浜荻地区



天津地区 1



清澄地区



天津地区 2

「2055年に開いてください」
あまつこみなとの町並みは
どう変わっている
でしょうか？

写真は平成16年現在の町並み



四方木地区



6 仏陀の峰

小湊13区祓山～12区小舟谷

お釈迦様の涅槃像そのまゝの姿。不思議な町ならではの、自然がおりなす景観。

(JR安房小湊駅前R128号からの眺望)



7 ロシア人初日本本土上陸地

天津 布入港付近

1739年6月18日にシュバンベルグ率いるロシアの日本探検隊が鎖国政策がとられていた江戸時代の元文年間に来航しました。ロシア人は、樽2つに水を詰めてもらったほか、ご飯や大根、酒をご馳走になり煙草と煙管を贈られました。これに対してビーズと銀貨をあたえました。



8 町で1番長い町道

内浦 薩葉線

町で最も長い町道です。(1,964.3m)

町内全体で280路線・53,578.6m(総延長)



町で1番短い町道

天津 広木堂線

町内で最も短い町道です。(13.5m)

町内全体で280路線・53,578.6m(総延長)



階段も町道

清澄 清澄植物園線

階段から始まる町道で終点からは、天津小湊を一望できます。(257.6m)

町内全体で280路線・53,578.6m(総延長)



9 日本初の波力発電航路標識

内浦 内浦湾

平成7年小湊港沖500mに、岩礁上や浅瀬に設置してある灯台・灯標で、日本で初めて波エネルギーを電源にした波力発電灯標(固定式)を設置しました。



10 実入歩道トンネルの水族館

天津 実入歩道トンネル

「実入歩道トンネル水族館事業」が平成16年の夏、始まりました。

全長230メートル、700坪の大壁面に、画家の大森良三さん、女子美術大学の生徒さん、町民有志、町内の小中学生などが一体となり、色とりどりの魚が泳ぐ様子や、町内の風景などが美しく描かれています。

写真提供：(株)千葉日報社

町内のおもしろばなしを10、紹介します。

～あまつこみなとおもしろ百物館2000より～



1 左甚五郎の鎮火牛

清澄 清澄寺庫裡

左甚五郎が彫ったと伝えられています。現在も火伏の守護神としてまつられています。



2 立木の柱

清澄 清澄寺庫裡

かけこみの土間より上がり框の両脇柱。向かって右がカヤ、左がスギの木です。



3 世界一を誇る大きな鬼瓦

小湊 誕生寺祖師堂

現在では、これ程大きな鬼瓦(たたみ21畳分の大きさ、重さ約2.8t)を焼ける窯がないため、世界一の地位は安泰です。

ギネスブック94'
日本の記録に掲載



4 甚平穴

四方木

江戸時代の天保年間、川まわしをしたときに掘られた穴(トンネル)。この穴掘りの先頭になったのが甚平という人物で、そこから甚平穴と呼ばれています。

高さ約5m



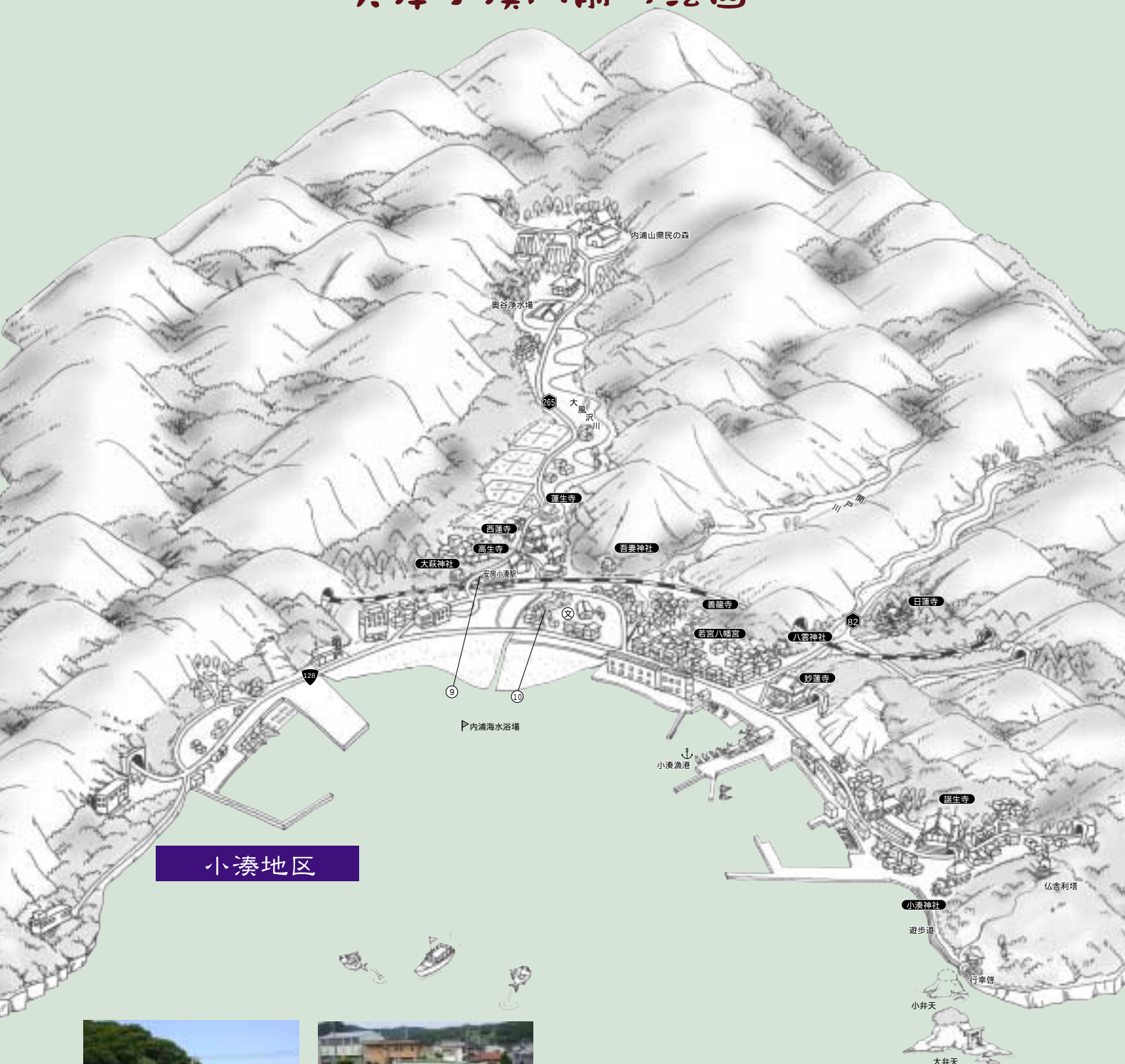
5 洞穴の伝説(馬の足跡)

天津 引土(浅間山山頂)

治承4年(1180年)に源頼朝の重臣、梶原景時が難をさけて家来とともに休息した穴といわれています。そして、この時一緒にいた馬がつけたといわれる足跡が洞穴の上部分に残されています。

あまつこみなとの 町並みを紹介します。

～天津小湊門前町絵図～



⑨コミュニティセンター小湊出張所



⑩小湊給食センター



天津地区

平成16年度
の
主な施設



① 天津小湊町役場



② 中央公民館



③ ふるさとシアター



④ わんぱくハウス



⑤ 健康管理センター



⑥ 衛生センター



⑦ 最終処分場



⑧ 天津給食センター

昭和30年以降の歴代町長



巽 弥太郎
昭和30年3月15日 昭和34年3月14日



今井 三郎
昭和34年3月15日 昭和38年3月14日



片桐 海石
昭和38年5月1日 昭和46年4月30日
昭和50年5月1日 昭和58年4月30日



今井 秀次郎
昭和46年5月1日 昭和50年4月30日



辰馬 和郎
昭和58年5月1日 平成11年4月30日



片桐 有而
平成11年5月1日 現在

50年の時が流れ、
その時代を象徴する町長が、
6人誕生しました。

天津小湊町 執行部 平成16年12月10日現在



前列
後列

神田 宥賢 教育長

栗原 靖夫 収入役

片桐 有而 町長

石田 日出夫 助役

平野 義孝 産業建設課長

小林 清則 保健環境課長

今井 賢 住民福祉課長

高浜 英夫 総務課長

野村 利雄 学校整備対策課長

四宮 実 水道課長

平野 重敏 企画観光課長

桐谷 満 税務課長

忍足 仁一 議会事務局長

昭和30年以降の歴代議長

末吉弥太郎	昭和30年2月11日	昭和30年8月10日	西川 岩吉	昭和57年9月8日	昭和59年9月22日
沼野 元昌	昭和30年8月22日	昭和34年8月10日	稲村 庫男	昭和59年9月22日	昭和61年9月7日
片桐 海石	昭和34年8月11日	昭和35年8月22日	大和田武一	昭和61年9月8日	昭和63年9月17日
森 栄太郎	昭和35年8月22日	昭和36年8月11日	高橋 猛	昭和63年9月17日	平成2年9月7日
小林 呉作	昭和36年8月11日	昭和37年8月10日	稲葉 光雄	平成2年9月8日	平成4年9月19日
佐瀬安次郎	昭和37年8月10日	昭和38年8月10日	高橋 猛	平成4年9月19日	平成6年9月7日
森 栄太郎	昭和38年8月20日	昭和46年8月10日	森 喜吉	平成6年9月8日	平成8年9月6日
桐谷伊五郎	昭和46年8月11日	昭和49年6月15日	長谷川秀雄	平成8年9月6日	平成10年9月7日
清水 享二	昭和49年6月15日	昭和49年8月6日	高橋 猛	平成10年9月8日	平成12年9月14日
森 栄太郎	昭和49年9月12日	昭和51年6月21日	西川 和広	平成12年9月14日	平成14年9月7日
桐谷伊五郎	昭和51年6月21日	昭和54年3月18日(死亡退職)	吉田 勝敏	平成14年9月9日	現在
大和田武一	昭和54年3月30日	昭和57年9月7日			

天津小湊町議会議員 平成16年12月10日現在



前列左から
久野 國松議員 松本 鶴松議員 麻生 政広副議長 吉田 勝敏議長 高橋 猛議員 森 喜吉議員 長谷川 秀雄議員
後列左から
滝口 久夫議員 松本 良幸議員 吉村 貞一議員 稲村 庫男議員 西宮 米造議員 西川 和広議員 斎藤 英夫議員 辰野 利文議員
(円内)
大和田 智議員

私たちの思いえがく、 将来のあまつこみなと

平成16年、町の皆さんのナマの声を聞く「タウンアドバイザー（町のご意見番）」を開催しました。

町出身で、都内近郊に住む皆さん。

天津・小湊両小学校6年生の子どもたち。

そして天津・小湊両中学校3年生の子どもたち。

各世代、住む環境が違う中で、未来のあまつこみなとがこうあってほしいという、さまざまな意見を聞くことが出来ました。



天津小・西川麻衣さん：町の所々に、足や目の不自由な人や、お年寄りが安全に過ごせるように、点字の案内や手すりをいっぱいつけてほしい。

天津小・岡田圭君：近くになくて不便なのでコンビニがほしい。また、さびた鉄の棒などで怪我する子がいるので公園の遊び道具を直してほしい。あと犬のフンも飼い主がきちんと処理するような町になるといいな。



子ども会議
「みらいのまち
いい鯛^{たい} きき鯛^{たい}
つくり鯛^{たい}」



小湊小6年生22名
天津小6年生42名
(平成16年2月12日実施)



小湊小・三浦茜さん：海や山に囲まれていて、住む人が皆優しく、平和。春には県民の森にハイキング、夏には海で海水浴ができるから好き。これから、町に住む人たちが皆がゴミをポイ捨てることのない、きれいな町でいてほしい。

小湊小・吉田昌弘君：天津小湊町には県民の森や校庭や浜辺など、子どもと自然が触れ合うところと遊ぶところがたくさんある。町の人も優しい。これからはテニスコートがついている施設ができて、それが格安で使えるようになったらいいな。





天津中・鍛冶綾乃さん：町は若者の働く場所がなく、高校を卒業すると若者は都会に就職する。若者の働けるような就職があったらいいと思う。

天津中・長谷川貴也君：土・日などになると、誕生寺入り口付近から天津バイパスまで激しい渋滞がある。新しいバイパスを建設して欲しい。



中学生会議
「町長にいいタイムズ」

若者に職を!

15歳の声

受験を終えた中学3年生

小湊中 21名
天津中 59名
(平成16年3月2日実施)



小湊中：加藤圭介君：小湊の海が年々汚くなっているように見える。海がきれいになる企画が必要だと思う。

小湊中：宮沢宏幸君：少子化が進んでいるが、このままだと10年後、小湊の小学校・幼稚園に入学する子が少なくならないか心配。人口が増えて欲しい。



千葉市 プラザ菜の花にて
17名参加(平成16年1月24日実施)

「～夢をかたろう、共につくろう～鯛のまち望郷懇談会」 官公署部門

芝町出身・里見さん(県庁勤務)：5年、10年先の町のことを考えると、観光に主眼を置いた町づくりが必要ではないか。また、鴨川シーワールド・亀田病院など、そして今ある誕生寺・清澄寺などで短期滞在型で人を呼べる環境づくりを。また、少子高齢化の波は避けられない。歩道と車道の区別をした整備推進してもらえれば。そうすれば自然と人に優しい町として認識されるのでは。四方木出身・神作さん(県庁勤務)：四方木の活性化は、高齢化が進み、なかなか難しい問題。天津小湊で売っているのに、おみやげが天津小湊産でないものがある。「天津小湊ブランド」というものにこだわりをもって売り出すべきだと思う。

新町出身・栗原さん(農林水産省勤務)：都市と農村の交流(グリーンツーリズム)を。鴨川の棚田でやっているの天津では漁業に広げるのもよいのでは。例えばひじきがり体験など。

同 一般部門

新町出身・林さん：合併しても天津小湊が心のふるさとであってほしい。行政は、箱物を作るのではなく、松一本でもいいから自然を大切に残してほしい。皆が癒されれば、そしてふるさとを自分たちが愛することができれば、観光客が同じ気持ちで集まってくれるのではないかな。

坂本出身・高橋さん：天津小湊を「便利な町」ではなく、「住みよい町」にしてほしい。また、1杯のラーメンを食べに、わざわざ旅費をかけて北海道まで行く人がいるように、天津小湊にもそういう名産がほしい。天津は東京から近いのだから、来る頻度も増す。10～20年かかってもいい、人が呼べるような町、いきたくするような町にしてほしい。

新町出身・岡野さん：広い視野で100年後のニッポンをどうするか、自分でなにかをやる力を持ち、行政だけに頼るのではなく、安房の人間として何ができるか、役割分担をはっきりわけ、地域に貢献していきたい。また「観光のまち」として新しい体験型観光に力をいれてみては。もう官公的な開発をしないで、

町出身者の声
都会に住む皆さん
いつまでも変わらない私たちのふるさとであってほしい。

南房総の人達の営みを、肌をもって体験してもらったり、老人宅にホームステイ、大学生が老人にパソコンなどを教えてもらうことなど、ボランティアでコミュニケーションをとってもらい、体験型の観光を提案します。

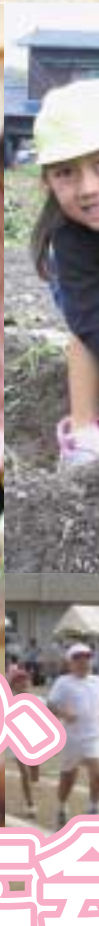
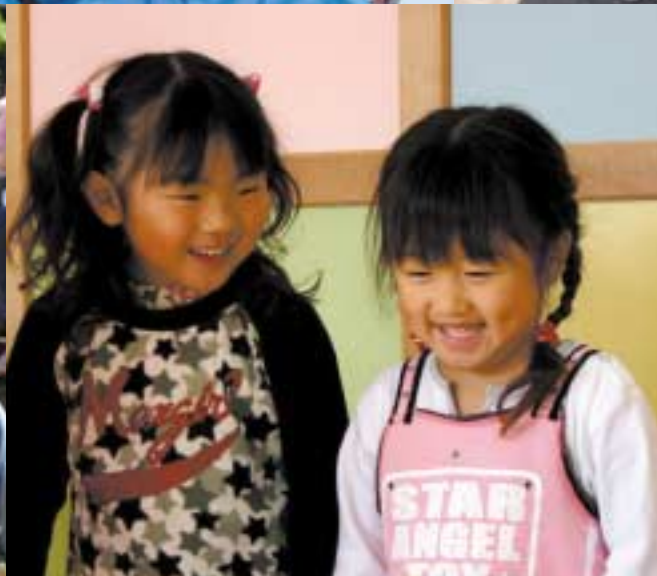


新宿 モノリス29にて
32名参加(平成16年1月28日実施)



大エさんになって
体操園をつくりたい
ひらの こうだい

ええといいな。



50年後の今日も、
変わらない笑顔に会

天津小湊町制50周年・閉町記念誌

発行 / 天津小湊町

〒299-5592

千葉県安房郡天津小湊町天津1104

0470(94)0511

<http://www.town.amatsukominato.chiba.jp>

発行日 / 平成16年12月25日

編集 / 天津小湊町企画観光課

制作 / ㈱集贅舎

